

## これ以上、町田市の学校をなくさないことを求める請願

### 請願要旨

- ・町田市の独自基準は見直しを

2021年に策定された「新たな学校づくり推進計画」では、町田市の独自基準として小学校18～24学級、中学校12学級～18学級を適正規模とし、小中学校62校中、41校を廃校にしようとしています。すでに第一期計画で4校が廃校になりました。しかし、文部科学省では小中学校12学級～18級が適正規模であり、町田市の基準は日本国内でもまれです。その結果、統合校では1学級の児童数が多くなったり、遠距離通学で登下校時の安全が問題となったり、学童の人数が多く指導が困難になったりしています。

- ・学校はこどもたちが育ちあう場です。

わざわざ統合して大規模な学校にすると、先生の目が子どもたちにゆきとどかなくなり、いじめや不登校の要因ともなります。少子化の時代だからこそ、一人ひとりが大切にされ、育ち合う場が必要です。先生と子どもたちの信頼関係を築くために、今ある学校を廃校にしないでください。

- ・学校は歩いて行けるところに

今ある学校が廃校になってしまうと、遠くの統合校まで通学に一時間以上かかったり、山坂を越え、危険な道を通学したり、バスを使って通学しなければならない子どもたちが多くなります。地域の人たちに見守られながら、安心して歩いて通学できる学校を残してください。

- ・学校は防災拠点で住民の安全を守ります。

学校を減らすと、災害が起こったとき、遠い避難所まで歩かなければなりません。学校は命を守る避難所です。子どもたちも高齢者も歩いて避難できる学校をなくさないでください。

### 請願項目

2021年5月に発表された「新たな学校づくり推進計画」は、学校統廃合ありきで住民や子どもたちの声を十分に聞かずに進められています。町田市の小・中学校62校中、41校を廃校にする「推進計画」はいったん白紙に戻し、住民や子どもたちの意見を取り入れて、計画を見直すことを求めます。